カトリック福岡教区報

ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人　カトリック福岡司教区
編集人　浦川　務
TEL　092-522-4059
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　1部70円

2027年7月16日　福岡教区は創立100周年を迎えます。

クリスマスは教会で・クリスマスは社会の真っただ中で

ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）

画：稲葉人志

クリスマスは教会で

待降節が始まりました。各小教区では相応しい心でクリスマスを迎えるようにさまざまな準備が行われていると思います。典礼に導かれて主を待ち望む心は、一人ひとりの夜半のミサに招くことによって、彼らも心の平安を味わい、クリスマスのメッセージをより深く理解することができると思います。

そのために声をかけてみることがとても大切だと思います。そして、教会へ行く前に、うちに、また、共同体の中で培われます。喜びのうちに、クリスマスを祝うことができるように心から祈ります。

クリスマスを喜びのうちに祝う私たちは、この深くて静かな喜びを多くの人々に体験していただきたいのです。この時こそ、キリスト者でない家族のメンバーや友人をクリスマスの祝いやミサの流れについて少しでも説明してあげたら参加しやすくなると思います。ともに祈りをささげる中で、イエスがもたらす平安と喜びを味わい、この賜物をすべての人々が味わえる世界を築いていくための呼びかけを感じると思います。クリスマスを教会でともに祝うように呼びかけましょう。

クリスマスは社会の真っただ中で

しかし、同時に、クリスマスを祝う中で与えられる恵みを社会の真っただ中で活かさなければなりません。これは、クリスマスのもう一つの大事な側面だと思います。

馬小屋の飼い葉おけに寝かされている幼子の前にひざまずく人は、現代社会の中で弱い立場に置かれている人々の前にもひざまずくはずです。

「天には神に栄光、地には人々に平和」と、イエスの誕生の夜に聞こえた天使の歌の実現を望むなら、排除され、見捨てられている人々に寄り添って、彼らの叫びに耳を傾け、彼らの状況を心に留めて、関わることが欠かせないことです。宿屋に泊まるところがなかったマリアとヨゼフを受け入れると、私たちのところでイエスが生まれるのです。幼子イエスを通して神に触れ、その愛を味わうことができます。マタイ福音書で伝えられているイエスの言葉を思い出す必要があります。「これらのもっとも小さな者にしたのは、わたしにしたのだ」と。

クリスマスの喜びと平安は、それを必要としている人々と分かち合うことによってより深いものになります。ベツレヘムに出向いた羊飼いのように、私たちも教会でのお祝いだけにとどまらず、出向いて行って、社会の中で「よい知らせ」を待っている人々との出会いに心を閉じてはなりません。

ヨゼフ・アベイヤ

12月の意向

教皇の意向のために祈りましょう

【教皇の意向】紛争地域のキリスト者

【日本の教会】召命

第76回　福岡市民クリスマス

日　時：12月8日（月）
開　場：18時　開演 18時30分
　　終演 20時40分
場　所：福岡市民ホール
　　中ホール

＜内　容＞
・クリスマスメッセージ
　鈴木 結生氏（作家・第172回芥川賞受賞、西南学院大学・大学院生）
・弦楽四重奏によるメドレー「プレギアーモ」
・福岡市民クリスマス聖歌隊による合唱

※詳細は上記QRコードからご確認を。
※入場無料

主の降誕夜半のミサ　YouTubeライブ配信

日　時：12月24日（水）19時から
主司式：ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）
場　所：カテドラル大名町教会 大聖堂

＜視聴方法＞
＊教区ホームページ（右記QRコード）か、https://fukuoka.catholic.jp 参照
＊YouTubeより「カトリック福岡司教区・主の降誕夜半ミサ」を検索。

油彩：森田貴博（山鹿教会）

2025年　聖年　「希望の巡礼者」
カトリック福岡司教区　閉幕ミサ ライブ配信のお知らせ

日　時：12月28日（日）14時から
主司式：ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）
場　所：カテドラル大名町教会

©Vatican Media
▲2025年聖年公式マスコット「ルーチェ（光）と仲間たち」

＜視聴方法＞
＊右記QRコードか、福岡教区ホームページ https://fukuoka.catholic.jp
＊YouTubeより「カトリック福岡司教区 2025年聖年閉幕ミサ」で検索。

時の話題

ローマのクリスマス

今年8月、3年間のローマ留学を終えて帰国した。昨年のクリスマスは一人の学生神父として、論文が締切までに終わるかどうか、不安の日々だった。司祭人生の3年間を費やして学んだことを基にして書く。ページはそんなに多くない。けれども重みは3年分。勉強するよう呼ばれているならば、勉強への召命があるというのならば、今が踏ん張りどころではないか。

待降節、マリアが神のみ使いガブリエルからお告げを受けたときの彼女の心の動きを興味深く追いたい。神の子を産むと聞いて「胸騒ぎ」がし、み使いも彼女の心の内を言い当てるかのように「恐れることはない」と言う。果たして天使の読みは当たっており、マリアは何かを「恐れて」いたのだろうか。「いいえ、マリアは無原罪ですから恐れは抱かないはずです」と言われればそれまでだが。

神の呼びかけに応え、「召命」を生きるとき、人は自分の殻を破り、否応なしに変容されていく。そのとき不安に思い、恐れる。神の母としての召命を生きるマリア。イエスの誕生後、一家は幼児殺害の令を下したヘロデ王から逃れるためエジプトへと移住する。今で言う難民だ。「恐れることはない」「主はあなたとともにおられる」という言葉はそんなときこそ、彼女の心の内に響いたに違いない。

論文が終わるか本当に不安だったクリスマス。ゆるしの秘跡で友人司祭が「恐れることはない」とわたしの心に響かせてくれた。そうか、そのときわたしにも、幼児イエスが生まれてきてくれていたんだ。ブオン・ナターレ！（＝メリー・クリスマス！）

船津亮太神父（光丘教会主任）

第3回　教区司祭評議会

第3回司祭評議会が10月21日、カテドラル大名町教会にて開催された。

まず、「福岡カリタス」の発足が決定された。これは、カリタスジャパンの下部組織ではなく、福岡教区独自の組織として、従来、災害被災者支援室を設置して行っていたものを、緊急事態やさまざまな社会の課題に対して、既存の活動団体、グループと連携を図りながら柔軟に対応していくための新たな組織となる。今後、教区の皆さんに周知していくこととなった。

教区創立100周年に向けて予定されていたオペラの上演は、諸般の事情で100周年後に計画することに変更されたこと、Tシャツなどのグッズを頒布することになったので、各小教区に注文票を送付して協力をお願いすること、記念誌への原稿修正作業への協力などが確認された。

現在、教区内でベトナム語ミサは8つ（大名町・久留米・大牟田・小倉・水巻・行橋・佐賀・手取）の教会で行われているが、今後、ミサ献金の半額をその教会に納め、残りはそれぞれのベトナム人グループの活動資金とし、教区会計基準に従って出納管理することに決定した。英語ミサとスペイン語ミサの献金の扱いは従来通りということも確認された。

和田墓地納骨堂など教区にある合同墓地では、8月15日に現地（屋外）でミサを捧げているが、近年の天候状況から、場所や時間を変更するなどの対応が必要との提案が出され、今後、各地区で対応を検討することとなった。

司教座聖堂である大名町教会大聖堂では、照明や内装の大工事が2026年4月～6月に予定されていること、そのため期間中の会合等での使用ができなくなることが報告された。併せて、今後駐車場は白線枠内のみの駐車とするので、特に出入りの多い日曜日など、駐車場利用は困難である前提で来て欲しいということが報告された。

そのほか、司祭証明カードの発行、次年度の年間行事予定、集会祭儀司式者養成講座の状況、長崎教会管区内司祭人事交流規定の施行、聖年閉幕ミサを12月28日（日）14時から大名町教会で行うことも確認され閉会した。

田中重治神父（大名町教会主任）

みちくさ

それは北米防衛を担うCONAD（大陸防空指令部）にかかってきた一本の電話から始まった。1955年末のことだ▼（何ごとだ…）司令官だったシャウプ大佐は緊張した面持ちで受話器を取った。そこから聞こえてきたのは予想もしないものだった。「サンタさんなの？」。なんと小さな女の子の声だったのだ。その時の2人の会話を再現してみよう▼「いたずらはやめなさい。どうやってこの番号を知ったのかね？」。大佐は不機嫌そうにたずねた。「ここにかけたらサンタさんとおはなしできるとかいてあったの」叱られたと思ったのか少女の声は震えていた。訳がわからなかったが危険性はないと判断し、大佐は思いつきを口にした。「私はサンタではないが秘密を教えてあげよう。実は私たちは北極点を離陸して南へ向かった正体不明の飛行物体をレーダーで追っている。それは8頭のトナカイに引かれたソリと思われ、乗員1名と大きな袋がのっているようだ。ソリは今夜遅く、君の街の上空を通過するはずだよ」▼そばで聞いていた他の職員はさぞ目を丸くしたことだろう。まちがい電話の原因は有名百貨店が掲載した新聞広告の誤植だったが、おかげで職員たちはクリスマスが過ぎるまで子どもたちにサンタの情報を伝え続けるハメになった。その後この業務はNORAD（北米航空宇宙防衛司令部）に引き継がれ、インターネットも駆使して今でも続いている▼ソリよ、あの国の空も飛ぶのなら届けてもらえないだろうか。心の底から笑える日々を、せめて子どもたちに（T）

◆ 福岡教区創立 100 周年に向けて ◆

2027 年 7 月 16 日、福岡教区は創立 100 周年を迎えます。
これを受け、教区報では、各小教区や団体が 100 周年に向け取り組んでいること、心がけていることなどについて具体的な活動を紹介していきます。
「創立 100 周年」の情報は右記 QR コードからご覧になれます。

巡礼指定教会の取り組み 6. 久留米教会

聖年マスコット「ルーチェ」も笑顔でお出迎え

福岡教区内からの巡礼だけでなく、今年は聖年の年と重なったこともあり国内外から多くの方が訪れている。韓国、シンガポール、香港、台湾など外国からの巡礼団も毎月のようにお越しいただいており、現在までに 300 人ほどの方が久留米教会でお祈りされている。「終活の一環で巡礼の旅をしています」「車中泊をしながらいろいろな教会を巡っています」「ステンドグラスの美しさに癒されました」「ロザリオの祈りに参加させていただき嬉しかった」など、様々なメッセージを残してくださっている。信徒も「ようこそ久留米教会へ」との気持ちを表す心で、積極的に訪れた方に声をかけ、巡礼団に接待奉仕をしている。巡礼の記念になるようにとルーチェのパネルやポスターを飾り、記念のボールペン、キーホルダーやオリジナルの一筆箋などを用意した。巡礼者のために久留米教会の歴史を伝えるパンフレットは、日本語のほかに英語、韓国語も準備・設置している。

久留米教会の見どころは、美しい佇まいの御聖堂だけでなく、空襲で焼失した教会にあった「天主堂」の石碑、祭壇後方の 3 面のステンドグラス、正面入口の上の久留米市の木である椿と久留米絣をイメージして一昨年設置した新しいステンドグラスなどである。また、久留米市役所 2 階には、1600 年に建立された瓦葺の教会の復元模型が展示されているので、ぜひ足を延ばしていただきたい。

久留米教会信徒　森　久美

福岡教区の青年と仁川教区の青年たちとの交流
私たちの2回目の出会い

青年交流会の派遣ミサ後に記念写真

昨年11月4日に行われた福岡教区青年大会における仁川（インチョン）教区の青年たちとの初の交流に続き、今回は福岡教区の青年17人と司祭3人、ヨゼフ・アベイヤ司教の計21人が11月1日～3日まで、2泊3日の日程で仁川に行ってきました。

仁川空港での温かい歓迎に始まり、「済物津頭殉教聖地」「海岸教会」「沓洞大聖堂」「仁川教区歴史博物館」を訪問しながら、仁川地域宣教の始まりから現仁川教区の状況までの歴史について知ることができました。

その後、青年たちは3つの教会に分かれて、青年ミサに参列しました。聖歌をバンドで演奏する青年ミサならではの明るく活気に満ちた雰囲気に、青年たちは感動し、日本の教会でも青年ミサが行われることを希望しました。そして信者の方々の家にホームステイをした青年たちは自然と韓国の文化を体験することができ、自分の日常と信仰生活に関する分かち合いを通じて、短い時間でしたが彼らと新しい家族になることができました。

多くの青年たちが言語の障壁を心配していました。しかし、それは大きな問題ではありませんでした。私たちは皆神様の子であり、神様の恵みによって結ばれた縁だからです。この交流が日本と韓国の教会についてもっと分かり合い、お互いの信仰生活を支え合うような関係に発展していくことを願っています。

ルカ全奭訓（ジョン・ソックン）神父　聖ドミニコ修道会
箱崎教会助任

ホームステイをしながら信仰生活について分かち合う

―お詫びと訂正―
11月号2面福岡・大分教区合同青年サマーキャンプのQRコードが間違っていました。下記よりご視聴ください。

福岡教区の殉教祭
殉教者のこころに想いを馳せて

今年もこの季節に、北九州地区・佐賀地区それぞれの宣教司牧評議会主催で、また熊本地区では八代教会が中心となって、殉教者を偲ぶミサが捧げられた。

ヨゼフ・アベイヤ司教の紋章にも刻まれる言葉「キリストの愛に駆り立てられて」、イエスに倣い、イエスの生き方を生き抜いた殉教者たちの「こころ」は、私たちの信仰の礎（いしずえ）であり、拠（よ）り所でもある。

北九州地区 宣教司牧評議会主催 加賀山隼人 殉教記念ミサ

ミサを司式したアベイヤ司教（右：谷口神父）

10月12日、午後から小倉教会においてヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）、北九州地区司祭団共同司式で、郷土の殉教者ディエゴ加賀山隼人（1619年10月15日殉教）と、同日に処刑された日出の殉教者バルタザル加賀山半左衛門とその息子ディエゴ（5歳）の「殉教記念ミサ」（約180人参加）が行われた。

ミサ前には「福者ディエゴ加賀山隼人への祈り」が心を合わせて唱えられ、アベイヤ司教は「私たちはこうして毎年、彼らを思い起こして殉教を記念しミサを捧げていますが21世紀の今でも世界を見れば信仰を証しするために、十字架の主のように、迫害され、有罪にされ、殺されている現実があります。幸いなことに信教の自由が認められている国の私たちは殉教することはないとは思いますが、信仰を証ししていった人たちの、互いに支えあうという生き方、貧しい人々に寄り添う生き方を心にとめて、日々キリストに導かれて生きること、深く信じて示された道を歩んで行ければと思います」と語った。

また、ミサの終わりに挨拶に立った谷口尚志神父（地区長・新田原教会）は感謝の言葉を述べるとともに、「私たちも同じキリストのいのちを受けている者として、いつも自分のいのちを差し出すといった生き方が求められているのかも知れません、ディエゴ加賀山隼人をはじめすべての殉教者の取次を願って、いただいた信仰を証しする決意を新たにしていければと思います」と話した。

北九州地区宣教司牧評議会広報
小田﨑鉄雄（行橋教会）

佐賀地区 宣教司牧評議会主催 不動山殉教者 祈念ミサ

10月19日、佐賀地区宣教司牧評議会主催で不動山殉教者祈念ミサが捧げられた。

今回、ミサ会場となった不動ふれあい体育館（佐賀県嬉野市）には、ヨゼフ・アベイヤ司教、宮原良治名誉司教と佐賀地区の司祭、修道者、信徒約130人が集い、地元嬉野市から市長代理の井上章氏（産業振興部長）と日本バプテスト連盟の藤野慶一郎牧師（嬉野キリスト教会）が参列した。

ミサはアベイヤ司教主司式で捧げられた。司教は説教で「信仰を持って生きる時、命を捧げる時に、その信仰は命に意味を与えてくれるものです」と語った。主催者挨拶では牧山美好神父（佐賀地区長・佐賀教会）が「このミサを通して、神様の愛と人間の愛を強く感じます。信仰の仲間たちとともに祈る時、この愛が輝くようになります。これからも、私たちの信仰を伝えていく働きのために、この行事を大切にしていきましょう」と述べた。

異宗徒塚跡で祈りを捧げる司教と参加者たち

ミサに先立ち、アベイヤ司教と信徒代表者が、不動山地区キリシタン史跡のひとつである「異宗徒塚跡」で祈りを捧げた。不動山地区には七つのキリシタン史跡があり、毎年順に巡っている。「異宗徒塚跡」は1606年にイエズス会によってレジデンシア（大村領東彼杵方面のためのイエズス会巡回拠点）が建てられた場所と推測されている。

参加者たちは400年前の殉教者に思いを馳せながら、祈りのひとときを過ごすことができた。

佐賀地区宣教司牧評議会広報
吉浦健次（伊万里教会）

長崎教会管区司教・司教総代理・事務局長会議

10月15日～16日カトリック大分教会にて、「長崎教会管区司教・司教総代理・事務局長会議」が開催された。年に1度、長崎教会管区内の教区代表者が集い、管区内の連携を図るために開催されている。会議は、各教区からの近況報告から始まった。聖年の取り組み、土地建物の処分、召命の減少、修道会の撤退など様々な課題と共に、青少年司牧、信徒養成、幼稚園におけるチャプレン制度などの未来に向けた挑戦についても報告があった。その後、2025年10月4日旧カトリック神学院にて開催された「ラウダート・シ10周年シンポジウム」の様子が報告された。

審議事項は以下の通りであった。（1）司祭の黙想会について。自教区の黙想会に参加できない場合には、同管区内の黙想会に参加できるよう案内をする。（2）青少年関連行事について。2027年韓国ソウルで開催されるWYDに向けた各教区での取り組み。（3）シノドスの長崎教会管区としての方向性。（4）中央協議会組織再編について。（5）長崎教会管区内の司祭人事交流について。（6）長崎教会管区内の教会裁判所関係者の協力促進について。

最後に、大分教会に集まってくださった信徒の皆様とミサを捧げ、解散となった。次回は、2026年10月14～15日、長崎教区が担当教区となる。

福岡教区　事務局長　十時伸治神父（西新教会）

カトリック大分教会の聖堂にて

サンパウロ
福岡宣教センター
営業時間：
10:00～18:00
定休日：日曜日・祝日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 ／fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp
レジナ アポストロールム

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る
株式会社
みこころ舎
問合せ
050-3032-1333

熊本地区　八代と臼内切りの殉教者を偲んで

臼内切り殉教ミサで信仰を深めた皆さん

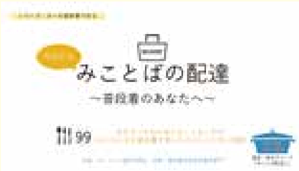
11月2日、八代教会で鹿児島教区の末吉卓也神父（姶良教会）の主司式により殉教祭ミサが捧げられた。説教で神父は、11人の殉教者のうち、わずか5歳のペトロ服部の信仰と勇気に深く心を打たれて思わず涙を流し、「今、殉教者たちは神のもとであふれる喜びと永遠の楽しみのうちにいる」と語った。また「殉教者はまっすぐに天国へ行かれました。皆さんはまっすぐ天国に行きたいですか？」と会衆に問いかけた。そして「この世のものを楽しむにしても執着せず、イエスの愛にならい、自分中心の生き方を改め、他者のために祈りと愛を捧げることが天国への備えである」と説いた。説教の後、外国人信徒も共に蝋燭奉納を行い、教会には大勢の信者が集まり、感動と祈りに包まれた。

翌3日、阿蘇郡南小国町の臼内切りには約40人が集まり、平田三好神父（武蔵ヶ丘教会）、ハリー・オカロール神父（八代・水俣教会）、フランシス・マッケイ神父（人吉教会）の3人によるミサが捧げられた。説教を担当したマッケイ神父は、172年前に殉教した12家族約60人の証しに触れ、すべてのクリスチャンが言葉・態度・行いで信仰の証し人となる大切さを説いた。また、ベネディクト会の修道士が聖体礼拝の中で感じたイエスからの霊的な語りかけを綴った『イエスの胸もとで』（教区報6月号「読みま専科」で紹介）から、「神様の全ての計画に身を委ね、喜びを持って苦しみを受け入れなさい」と、日々の苦しみを神に捧げる意義を伝えた。また、「聖ピオ神父(カプチン・フランシスコ修道会。聖ヨハネ・パウロ2世教皇によって2002年に列聖）の教えのように、〝今〟の祈りは過去にも届き、172年前の殉教者を助けることができる」と語った。参加者たちはミサに熱心に参加し、イエスと共にいるという喜びを深く、そして強く感じていた。

昼食後には賛美も行われ、和やかで温かい雰囲気の中、信仰を深める貴重な時間となった。　八代教会　下村淑子

平日にもみことばの配達 ～普段着のあなたへ～　祝100回！

YouTube チャンネル画像



2021年6月に始まった「平日にもみことばの配達～普段着のあなたへ～」が2025年12月10日（水）に100回目を迎えます。毎月第2と第4水曜日に配信されており、まず聖書の朗読、次に朗読された箇所を味わうための文章と黙想のヒントが続きます。冒頭の聖書が再び朗読されて約10分間の動画は締めくくられます。耳にした言葉は同じでも、2回目の朗読では、響き方が変わったと感じることが多々あります。信仰生活においては、長い時間の経過や環境の変化によって、みことばの新たな一面に出会うことがありますが、約10分間でもみことばとの新たな出会いは可能なのです。また、「よく知っている箇所だから」の一言で、みことばを素通りしてしまうのは、みことばとの新たな出会いを妨げているかもしれません。今、ここで贈られたみことばと向き合うことを神様は望んでおられるのだと思うようになりました。

「みことば配達人」グループは、半年に1回程度集まり、一緒に食卓を囲む時間を持つようにしています。そのひとときには心もおなかも満たされ、希望を自分の中に感じ取ることができます。一人静かにみことばと過ごす時間も、集いの中で一人ひとりがみことばとの関わりを語り、お互いに聴き合う時間のどちらも幸せな時です。「みことばの配達」のささやかな働きが、いつもみことばと暮らすことにつながることを願っています。　「みことば配達人」　田上朝子（大名町教会）

「ラウダート・シ」を見据えたカトリック学校の教育

アベイヤ司教の講演の様子

福岡海星女子学院附属小学校では、10月17、18日に50回目となる日本私立小学校連合会九州地区教員研修会が開催された。九州・沖縄の私立小学校から、200人余りの教員の参加があった。

この研修会で本校が研究内容として提示したのは、前教皇フランシスコの回勅「ラウダート・シ」を見据えた教育を行うこと。「ラウダート・シ」には「持続可能なライフスタイル」や「エコロジカルな霊性」など7つの目標が示されている。本校はその目標を見据えて、神様の被造物である人や自然に主体的・対話的に関わるとともに、命を大切にする子どもたちを育て↘

↙たいと考えた。

研修会の1日目は、福岡教区長のヨゼフ・アベイヤ司教に、「ともに生きる喜び」と題して「ラウダート・シ」で大切にしたい考え方などについてご講演をいただいた。

2日目は、「ラウダート・シ」を見据えた教科等の授業公開と、その授業を基に本校の教育活動について協議する分科会を行った。その分科会では、本校の取組みの評価を次の2点からいただいた。一つは、学校の自然を生かした学習を通して、人や自然を大切にする行動化を図っている点。もう一つは、「聴く」ことを主眼にした「聴き合い活動」を通して、一人ひとりが友だちの話に耳を傾け、自分の考えを広げたり深めたりしている点であった。この「聴き合い活動」は、ヨハネ福音書13章の隣人愛にもつながると考えている。

今後もカトリックの小学校として、「ラウダート・シ」を見据えた教育を行っていく所存である。

福岡海星女子学院附属小学校　校長　深井隆弘

八代ナザレ園創立125周年記念式典を開催 「八代に無くてはならぬ存在」（八代市長）

祝辞を述べるアベイヤ司教

11月8日、社会福祉法人八代ナザレ園創立125周年記念式典及び祝賀会が100人を超える出席のもとホワイトパレス(八代市)で開催された。

初めに主催者であるシャルトル聖パウロ修道女会、日本管区長千葉佳子氏が「17世紀末フランスに設立され世界各国で教育・医療・福祉事業を展開、1878年函館に3人の修道女が来日。1900年に八代に来て125年になるが、自治体をはじめ地域の皆様のおかげで今日を迎えた」と挨拶をした。そして、福岡教区長のヨゼフ・アベイヤ司教は「宣教師はフランシスコ・ザビエル以来、宣教の地で国としてまだ整っていない医療・福祉に取り組み、病気の人、親が育てられない子ども、差別で苦しむ人を助けてきた。イエスも様々な病気や苦しみに悩む者たちを癒された」と、小野泰輔八代市長は「八代市は児童虐待、不登校生徒が多い。アベイヤ司教が言われたように八代ナザレ園はキリスト教精神を実践して今日を迎えた。八代に無くてはならない存在。今日は新たな始まりと思って欲しい」と、それぞれ祝辞を述べた。出席者への土産として『星の王子さま』の本が用意され、小野豊和氏（本園理事、手取教会）による「星の王子さまと熊本生まれの翻訳者内藤濯氏について」の基調講演があった。

祝賀会では、八代白百合学園高等学校吹奏楽部によるオープニング演奏、マジックショーなどがあり、最後に富田美智子園長（シャルトル聖パウロ修道女会）は、2023年まで37年間八代訪問時に必ず来園してくださった故八代亜紀さんへ特別感謝状を贈った。

手取教会　小野豊和

福岡地区合同デイキャンプ開催

10月26日、旧カトリック神学院にて、福岡地区の光丘、笹丘、大名町、西新、箱崎教会から約30人の子どもたちと、司祭、神学生、保護者、リーダーとその家族など総勢約80人が集まり、教会学校合同デイキャンプが開催されました。

広いグラウンドでは、様々なゲームを通して、大人も子どもも一緒になって走り、跳び、手をつなぎ、輪になって、汗をかきながら、笑い合い、声をかけあって競い合いました。午後のわずか2時間のプログラムでしたが、非常に密度の濃い、楽しく充実した交流の時間となりました。

毎年行われているFYCC（福岡ユースカトリックキャンプ）は中高生を対象とした集まりですが、今回のデイキャンプはその活動や趣旨を小学生にも広げる、素敵な取り組みでした。

合同デイキャンプを呼びかけてくださったリーダーのお一人は、「子どもたちが笑顔で過ごせる場所が教会の中で広がるように。そのためには、小教区を超えたつながりが大切ですし、リーダー同士の横のつながりをもっと深めていく必要があります」と語ってくださいました。その言葉に、深く共感します。

終わりの会では、フルートの伴奏に合わせて「希望の巡礼者」をみんなで歌い、神様と沈黙のうちに語り合い、船津亮太神父（光丘教会）の祝福をいただいて、それぞれの教会への帰途に就きました。　西新教会　柴田久美

みんなで笑顔で輪になって

北九州地区 宣教司牧評議会主催 第3回 聖書講座

みことばを頭でなく心に刻み黙想する

10月19日、「派遣された証人であるキリスト者」をテーマに第3回北九州地区聖書講座が門司教会で開かれ、50人程が参加した。

沈黙の中「みことばの朗読～ルカ24章、使徒言行録1章～」に耳を傾ける。レナト・フィリピーニ神父（聖ザベリオ宣教会、糸島・茶山教会主任）から聖書をより深く受け止めるために、頭に浮かんだこと、感じたことを心に刻むよう促され黙想した。その後6つのグループに分かれ、みことばの分かち合いが行われた。分かち合いが初めてという方には、自分の心に問いかけ、神様の前に素の自分を言葉にして話すことを悟っていただいた。それぞれが心に触れたことに気付くという穏やかな時が流れた。次回は12月14日（日）に若松教会で開催。ぜひご参加を！

門司教会信徒

訃報

アルベルト・ディ・ベッロ神父（ミラノ外国宣教会）

11月13日（イタリア時間）、イタリア・レッコにて帰天。1940年11月29日イタリア生まれ。享年84。

1967年6月28日司祭叙階後、1972年来日。日本語研修後、福岡教区では佐賀教会や武雄教会で主任を務めるなど、宣教司牧活動に従事し多くの信徒に慕われた。また東京大司教区でも宣教司牧を行った。

2017年5月、病のためイタリアに帰国。

「読みま専科」は休載

ド・ロさま そうめん
Nagasaki Spaghetti 長崎スパゲッチー Since 1883
株式会社サンフリード ド・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611
右記URLからご注文できます

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322　FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522　FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん ご一緒に働いてみませんか
URL：http://www.st-mary-med.or.jp/

「QRコード」という名称はデンソーウェーブの登録商標です。

年間目標　互いに支え合う交わりの教会となる

ミーアサロン大濠　―クリスマス会―

［日　時］12月17日（水）12時40分～15時
［場　所］大濠カトリック会館　宣教養成センター
［内　容］
・ラファエラコーラス隊（大濠聖母幼稚園）演奏
　～子どもたちと一緒に～
・フルート演奏　只隅朋美（光丘教会）
・絵本の読み聞かせ「てぶくろをかいに」天本孝久氏
・お話　吉田俊雄（大名町教会）
　「食は人をつなぐ」
［問合せ先］☎090･5940･1344（角田）
※詳細は右記QRコードからご確認ください。

【カトリック福岡地区青年会秋冬企画】読書会

『見よ、それはきわめてよかった―総合的なインテグラルエコロジーへの招き』（日本カトリック司教団発行）

［講　師］瀬本正之神父様（イエズス会）
［日　程］2026年1月7日・1月21日
　2月25日 ※日時は変更になる可能性があります。
［回　数］全6回（部分参加も可能）
［時　間］19:30～21:00 各回1時間半
［形　式］オンライン（Zoom）
［対象者］福岡地区青年会会員と、インテグラル・エコロジーやそれに関係する活動に興味のある方、他地区・教区の青年やOBOG等大歓迎。
［内　容］本の内容についての分かち合い、質問、お話など。
［参加費］無料

申込み詳細はQRコードからご確認ください。

～一緒に聖書の理解を深めてみましょう～ 聖書勉強会

毎月　第2・第4水曜日
午前の部　10:00～11:00
夕方の部　19:00～20:00
［1月の日程］1月14日（水）　1月28日（水）
［ファシリテーター］ヨゼフ･アベイヤ司教(福岡教区長)
［場　所］カテドラル大名町教会
［問合せ先］☎092･741･3687
　（大名町教会）
※どなたでも参加できます。

北九州地区宣教司牧評議会 社会福音化委員会主催 「私は憎まない」映画上映会 ～平和と人間の尊厳を追求する ガザ出身医師の誓い～

ガザ地区出身のパレスチナ人として、イスラエルの病院で働く医師についての映画上映を行います。ガザの人々に心を寄せ、戦争と平和について考えてみませんか。

［日　時］1月24日（土）14:00～16:00
　（開場 13:30）
［場　所］カトリック小倉教会 聖堂
［参加費］無料
　（カリタスジャパンへの募金をお願いします）
［問合せ先］☎090･9583･2806（高瀬）

― 召命を共に祈る会 ―

福岡地区　12月16日（火）13時30分～ 大名町教会
ミサと分かち合い
司式：O. ベルナルド神父（古賀教会）
〔問合せ先〕☎090･6422･2257（山口）

北九州地区　※12月は休会
2026年　1月10日（土）14時～ 小倉教会
ミサと茶話会
司式：ジョン･ウォンチョル神父（戸畑･若松教会）
〔問合せ先〕☎0949･24･9905（藤井）

熊本地区　※12月は休会
2026年　1月15日（木）9時30分～ 健軍教会
ミサと分かち合い
司式：中村信哉神父（健軍教会）
〔問合せ先〕☎096･369･8896（松上）

― 各種団体の定例会 ―

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報12月号」、または右記QRコードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し

福岡教区創立100周年に向けて かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう！

2027年7月16日まで あと19ヶ月

スタンプを押した八代教会のページ

2025年－2026年7月までのテーマ：未来に開かれた教会になる 「希望の巡礼者」として歩んだ聖年は閉幕しますが、私たちの100周年に向けた巡礼の歩みは、あと1年半続きます。

―８つの巡礼指定教会―
その８　七つの悲しみの聖母･カトリック八代教会　教会の庭に熊本と八代の麦島で殉教した11人の記念碑があり、毎年12月に殉教祭が行われます。

真命山諸宗教対話センター　－祈りの集い－

年間テーマ：希望の巡礼者　**※指導はチームで行われます。**
日　　時：12月11日(木)
内　　容：「希望」と喜び　神の訪れはもたらす贈り物
次　　回：2026年1月8日(木)
年間テーマ：祈りの人々と出会う
内　　容：アブラハム･執り成す人「アブラハムは主の前にとどまった」
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7
E-mail　shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

12月のこよみ

【12月】
2日(火)　教区経済問題評議会
3日(水)　日本宣教の保護者　聖フランシスコ・ザビエル
4日(木)　カトリック学校教育連盟 校長・理事長会
　司教団SH委員会(Zoom)
7日(日)　待降節第２主日　宣教地召命促進の日(献金)
　小倉教会・堅信式
8日(月)　無原罪の聖母マリア　福岡市民クリスマス
9日(火)　教区顧問会
13日(土)　山鹿教会司牧訪問
14日(日)　待降節第３主日　菊池教会司牧訪問
20日(土)　高遊原教会司牧訪問
21日(日)　待降節第４主日　健軍教会司牧訪問
24日(水)　主の降誕夜半のミサ 大名町教会ミサ司式
25日(木)　主の降誕　主の降誕日中のミサ 大名町教会ミサ司式
　聖マリア病院 クリスマスミサ
26日(金)　最初の殉教者 聖ステファノ殉教者
27日(土)　聖ヨハネ使徒福音記者
28日(日)　聖家族　吉塚教会堅信式
　2025年聖年閉幕ミサ(カテドラル大名町教会)
【1月】
1日(木)　神の母聖マリア　大名町教会ミサ司式
　世界平和の日
■ゴシックは司教日程

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記ＱＲコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

集いの詳細は、各問合せ先にお尋ねください。

■美野島司牧センター
○ホームレスの方に温かい食事と衣類
毎週火曜日10時（12月30日休み）
○ホームレス支援炊き出し
毎週金曜日(1月2日休み)
調理14時　夜回り20時
○路上からアパートに入居した方を訪問
〔問合せ先〕☎092･431･1419ジョンソン・デソーザ神父

■大濠カトリック会館・宣教養成センター
○ミーアサロン大濠
第1・第3水曜日10時～
〔問合せ先〕☎092･753･6765角田
○みことばのお弁当
※12月は休会
〔問合せ先〕☎092･753･6765大濠カトリック会館
第2土曜日14時

■宣教養成委員会―『黙想と祈りの集い』テゼの歌と共に
※12月は休会

編集後記

教区創立100周年まであと19ヶ月となりました。「平日にもみことばの配達」は100回目を迎えます。他にも様々な場や活動で節目を迎えることでしょう。

福岡教区報は今年10月、800号を迎えていました。「祝第800号」は謙虚にやり過ごしたのでなく、実は広報委員はじめ関わっていた全員が失念していたのです…。

歴代の編集者たちが、時代に応じて様々な工夫を凝らし発行してきた福岡教区報。700号に寄せられた宮原良治名誉司教様、渡辺隆義神父様の言葉通り、「どれくらい、そしてどのような方が読んでくれているだろうか」「この内容でいいのだろうか」と自問自答しながら、また、紙面の制約と葛藤しながら、官報のように公的な役割だけでなく、福音の恵みを広め、教区の皆さんが互いに親しくつながり、励まし合える場となるような情報を届けるために毎号取り組んでいます。節目に気付けないほど、一同必死に作業をしていると想像いただければ幸いです。

次号は2026年1月号。クリスマスも迎えず頭の中はもう新年です。来年もよろしくお願いいたします。(W)

業務お休みのお知らせ

教区本部事務局
12月29日(月)～1月4日(日)

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話　080-2694-4182
受付時間　月～金（祝日を除く）
10:00～12:00　13:00～16:00

降誕祭・年末年始のミサ時間

教会	24日 降誕夜半	25日 降誕祭	1日 元旦
福岡地区			
糸島	19:00	10:00	10:00
大楠	20:00	10:00	10:00
古賀	19:00	0:00 9:30	10:00
笹丘	18:00 20:30	10:00	11:00
浄水通	19:00	10:00	10:00
大名町	19:00	10:00 16:00 Eng 19:00 Vie	10:00 13:30 Vie 16:00 Eng
能古島	―	15:00	15:00
高宮	19:00	10:00	11:00
茶山	19:00	9:00	9:00
西新	19:00	10:00	10:00
箱崎 吉塚で合同	19:30	11:00	11:00
光丘	19:00	10:00	10:00
吉塚 箱崎と合同	19:30	11:00	11:00
南粕屋	18:00	9:00	9:00
老司	19:00	9:30	10:00
美野島司牧センター	19:30 Esp	―	―
筑後地区			
今村	19:00	8:00 10:00	10:00
大牟田	19:00	9:00	9:00
小郡	19:00	9:00	9:00
久留米	18:00 20:00	9:00	7:00 9:00
二日市	19:00	9:30	10:00
本郷	19:30	9:00	10:00
北九州地区			
飯塚	20:00	9:00	10:00
黒崎	19:00	9:30	10:30
小倉	19:00	10:00	10:00
新田原	20:00	9:00	10:00
田川	18:00	11:30	11:30
天神町	19:00	9:30	9:00
戸畑	18:00	9:00	9:00
直方	19:00	9:30	9:30
水巻	19:00	9:30	9:30

教会	24日 降誕夜半	25日 降誕祭	1日 元旦
門司	19:00	10:00	10:00
湯川	19:30	10:00	10:00
行橋	19:00	10:00	10:00
豊津	17:00	8:00	8:00
若松	20:00	10:30	10:30
佐賀地区			
伊万里	19:00	9:00	9:00
鹿島	17:30	11:00	9:00
唐津	19:00	10:00	10:00
佐賀	19:00	10:00	10:00
多久	―	11:00	11:00
武雄	19:30	9:00	11:00
鳥栖	19:00	9:00	10:00
馬渡島	19:00	7:30	7:30
呼子	19:00	10:30	10:30
松島	―	15:00	15:00 (12/31)
熊本地区			
荒尾	19:00	10:00	9:00
大江	18:00	―	18:30 (12/31)
帯山	19:00	10:00	10:00
菊池	19:00 山鹿と合同	―	9:00 山鹿と合同
山鹿	―	11:00 菊池と合同	―
健軍	19:30	9:30	10:00
高遊原	―	―	―
崎津	20:00	―	7:30
島崎	19:00	10:00	10:00
玉名	19:00	11:00	11:00
手取	19:00	0:00 10:00	10:00
人吉	19:00	10:00	11:00
本渡	―	10:00	10:00
水俣	23:00	―	8:00
武蔵ヶ丘	19:30	10:00	10:00
恵楓園	―	―	―
八代	19:00	11:00	11:00

※Eng 英語・Vie ベトナム語・Esp スペイン語
注：大名町～ 1. 立ち席でのミサ参加は防災上できません。満席の場合は、1階ホール（ライブ配信会場）へご案内します。
2. 駐車場は白線外には駐車できません。公共の交通機関をご利用ください。